

## むろと元気塾

### 1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

自然体験活動をととして、児童のコミュニケーション能力を高めるとともに自己肯定感の向上を図る。

○ 実施期間

令和2年8月18日（火）

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

安芸和光寮、ちぐさを利用している児童 23名／30名

○ 活動プログラム

8月18日（火曜日）	
7:00	ちぐさ発 (途中トイレ休憩 7:50 頃・・・ローソン安芸芸西村店)
8:20	安芸駅で和光寮の車2台と合流 (途中トイレ休憩 8:50 頃・・・羽根休憩所)
9:30	とろむ着
9:50	A・・・ドルフィンスイム、 C・・・SUP
11:30	B・・・ドルフィンスイム、 A・・・SUP
12:00	C・・・昼食
12:40	AB・・・昼食
13:10	C・・・ドルフィンスイム
13:20	B・・・SUP
14:50	感想等
15:10	とろむ発 (途中トイレ休憩 15:40 頃・・・羽根休憩所) (途中トイレ休憩 16:20 頃・・・安芸駅) ※和光寮は安芸駅には寄らずそのまま帰路へ
17:30	ちぐさ着

### 2. 活動の様子

今年度は、安芸和光寮とちぐさを利用している児童を対象として、むろと元気塾を行った。安芸和光寮とちぐさの職員を含めた23名が本事業に参加した。

3つのグループに分かれ、ローテーションでSUPとドルフィンスイムの活動を行った。また待っている時にも楽しんでもらえるように、海辺の比較的浅い場所で泳いで魚を観たり海の生物を触ったりする機会も設けた。

SUP体験では、ライフジャケットが安全に着れているか友だちと互いにチェックし合ったり、仲間と声をかけ合ってパドルを漕ぐ姿が見られた。どの参加者もいきいきとして、とても楽しそうに活動することができていた。ドルフィンスイムでは初めて見るイルカに少し怖がりながらも、イルカと一緒に泳いだり触れたりする活動を通して、徐々にイルカに慣れ楽しむことができた。

### 3. 事業の成果と課題

#### ○ 参加者の感想

- ・ サップが楽しかった。落ちても浮かんで楽しかったです。
- ・ つかれたけど、みんなで遊べたことが一番うれしいです。おぼれないか心配だったけど、おぼれなかったのよかったです。また今度も来たいです。
- ・ 初めてイルカと泳いだりしてとても楽しかった。イルカと仲良くなれた気がしてうれしかった。
- ・ 今年はコロナもあり、子どもたちが安全に楽しく活動できることはないかと職員一同悩んでおりましたが、子どもたちの夏の思い出作りができました。
- ・ 久しぶりに子どもたちのいきいきした姿が見られて嬉しく思います。普段海に行く機会がないので、楽しめたと思います。待っている児童への配慮もしていただき、良かったです。

#### ○ 事業の成果

- ・ 昨年度の反省を活かし、SUPの活動とドルフィンスイムの活動の両方の活動を全てのこどもたちが体験できたことはよかった。
- ・ 活動の最初と最後に参加者の子どもたちや職員全員の前で挨拶や感想を言えたことは、子どもたちの自信になり自己肯定感の向上にもつながったのではないだろうか。
- ・ 活動前はSUPに乗ることを不安がる参加者もいたが、友だちと協力して活動する中で笑顔が増え、SUPの楽しさを感じている姿を見ることができた。
- ・ 海の活動を体験する中で参加者同士でコミュニケーションを取り、意欲的に関わることができていた。年上の児童が年下の児童のお世話をしたり、教えてあげたりしていた。
- ・ 職員の方からは、こどもたちが帰宅後も「楽しかった。」「また行きたい。」という声があったことを教えていただき、大変嬉しく思った。

#### ○ 事業の課題

- ・ 活動中、決まった子ども同士の関わりが多く見られたため、安芸和光寮とちぐさの子どもたち全員で協力して行うことができる交流的な活動を取り入れる必要があると感じた。
- ・ 今年度はコロナの影響があり、日帰りでの事業になってしまったことは致し方なかった面があるが、来年度はどのような状況であろうと参加者の皆さんが安心して泊まり楽しく活動ができるような準備とプレゼンをしたいと考える。